

平成30年度環境医学研究所・プロジェクト研究報告会 2019年5月24日（金）

発表タイトル一覧

1	猪俣武範	iPhoneアプリを活用した環境因子と花粉症の関連に関する人工知能アルゴリズムの開発	18	松田 彰	重症アトピー性角結膜炎における疾患関連遺伝子の探索と環境因子
2	上野紀子	イオンモビリティ搭載型質量分析計を用いた脂質分析の基盤研究とその応用	19	八戸敏史	小細胞肺癌における酸化ストレス応答系の破綻機序の解明
3	梅原芳恵	難治性かゆみに対するビタミンD3の効果	20	山中 航	ストレス性高血圧発症における扁桃体の役割
4	加藤元康	メチルプレドニゾロンの抗炎症・抗線維化作用の機序解明	21	李 賢喆	眼アレルギー疾患を増悪する脂質メディエーターの解明と治療への応用
5	上窪裕二	ライブセル・イメージングによるかゆみ関連GPCRの機能制御の解析	22	岩本志穂	Association between inflammatory bowel disease and dry skin with pruritus
6	熊谷由美	好中球エクソソームを介した、環境汚染物質LPS等による敗血症の新たな病態制御	23	Catharina Sagita Moniaga	Hydrogen sulfide may modulate the itch of atopic dermatitis through altered expression of nerve elongation factors
7	高 遼	第三世代EGFR-TKI治療耐性における肺癌幹細胞の役割	24	片岡裕子	強皮症モデルマウスにおける抗CTGF抗体の有効性の検討
8	近藤 豊	熱中症におけるアデノシン1リン酸の新規治療法	25	鎌田弥生	正常ヒト表皮角化細胞におけるセマフォリン3Aの発現に関与する細胞内シグナリングの解明
9	佐藤 匡	慢性タバコ煙曝露COPDモデルを用いた加熱式タバコによる肺傷害の検討	26	黒崎裕子	Effect of 308 nm excimer light on skin microbiota in patients with atopic dermatitis
10	杉谷善信	ヒト脳発達障害原因遺伝子の変異と自閉症リスク環境因子によって誘発される脳発生異常に関する研究	27	古宮（須山）栄利子	機械的かゆみ調節機能におけるCD26分子の役割
11	砂堀毅彦	神経性セルロイドリポフスチン蓄積症モデルマウスにおける神経細胞死とTLRを介した悪玉ミクログリアの関与	28	外山扇雅	感覚神経と好酸球の相互作用を標的としたアトピー性皮膚炎における難治性痒みメカニズムの解明
12	高橋史行	ミューラー管抑制因子による新規肺癌治療の試み	29	中山仁志	リポ多糖を介した炎症応答における糖脂質脂質ラフトの役割
13	千葉麻子	MAIT細胞を標的とした核酸受容体過剰発現SLEモデルの制御法開発	30	早川国宏	TLR7アゴニスト持続的経皮感作によるNZBWF1マウスの糸球体腎炎の増悪化
14	常深泰司	細胞外微粒子の形成、分泌障害による神経変性機序	31	本田耕太郎	脊髄におけるナルフラフィンの鎮痒作用点の解明
15	能登大介	腸内環境の変化が中枢神経脱髄へ与える影響の解明	32	松岡遊貴	関節リウマチ治療に対するメトホルミンのdrug repositioningの可能性の検討
16	松川岳久	LA-ICP-MSを用いた鉛の生体内ターゲット蛋白質の同定	33	柳田光昭	関節リウマチ患者血清プロテオーム解析データのクラスター分析
17	松下 訓	性ホルモンが心筋細胞の加齢性傷害に及ぼす影響	34	李 曉佳	好中球ホメオスタシスにおけるリゾリン脂質の役割について

討論時間 奇数：18:00～19:00 / 偶数：19:00～20:00